

福祉委員の活動事例



○ 気になる方の見守り・訪問活動

【福祉委員だより手渡し運動】

健康等の情報が掲載された「福祉委員だより」をちょっと気になる方に、安否確認や孤独感の緩和のために手渡しする活動だよ。
訪問のきっかけにもなるので、市内で手渡し運動は広がっているよ。



- 広報やお弁当の配達を通じた訪問活動
- ご近所ふれあいサロン活動を通じた安否確認
- 情報交換等を行う話し合いの場づくりへの参加
- 研修会への参加
- 地区・自治会行事への参加や住民への周知
- 関係機関との連携（ふくし連絡票の活用）



【ふくし連絡票】

福祉委員だからこそ気付ける地域の課題やニーズを福祉委員だけで抱えることなく、連絡票を使って地域の関係者や福祉の関係機関につなぐことで福祉課題の解決を図っていけるよ。

地域に顔見知りが増えて、人とのふれあいは楽しく、やりがいに繋がる！
訪問した時に“待っていたよ”“ありがとう”などのお声は嬉しい！ など福祉委員さんからの声も聞いているよ。



※なお、福祉委員活動中にケガ等発生したときには、宇部市市民活動補償が適用されます。ケガが発生したときには下記まで御相談ください。

社会福祉法人 宇部市社会福祉協議会 地域福祉課

〒 755-0033 宇部市琴芝町二丁目 4 番 25号 宇部市福祉ふれあいセンター4階

TEL 0836-33-3134 FAX 0836-22-4392

令和 7 年 4 月作成



福祉委員活動の手引き



宇部市社会福祉協議会（社協）とは

「社会福祉法」に基づいて全国の都道府県・市区町村に設置されている公的な民間非営利団体です。宇部市社協は、「誰もが自分らしく暮らせる地域社会」を目指し、地域における自治会等の住民組織と行政や民間の社会福祉事業関係者とともに、地域共生社会の実現に取り組んでいます。

福祉の輪づくり運動とは

「福祉の輪づくり運動」は、地域の困りごとや心配ごとを解決するための仕組みづくりを進めていくものです。そのため、民生委員・児童委員、福祉委員など地域で活動している方々と福祉関係者・機関の連携が大切です。

ぼく宇部市社協のキャラクター
“うべっぼ”よろしくね。



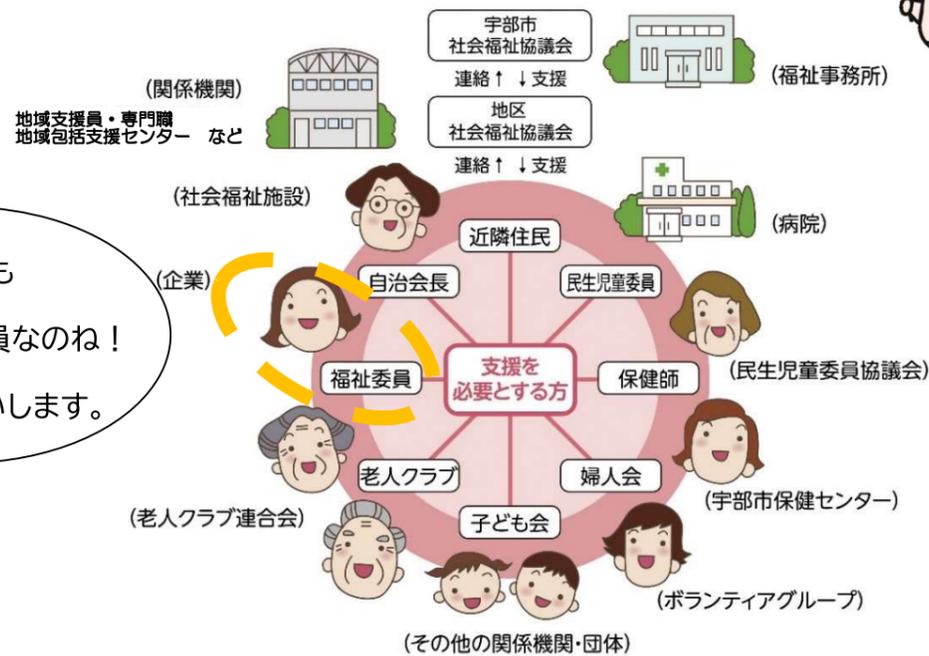
例えばご近所にこんなことに困っている人はいませんか？

- 日頃の食事の支度や、毎日の買い物、通院で困っている。
- 一人ぼっちで家に閉じこもっている。
- 子どもと一緒に遊んだり、子育てのことで相談できる所がない。など…



こんな時に地域で助け合うことが自然にできる関係づくりが大切だね。

福祉の輪づくり運動推進の仕組み



福祉委員さんも
輪づくりの一員なのね！
よろしくお願いします。



福祉委員とは

福祉委員は身近な地域における地域福祉活動推進者です。さりげなくお互いを支え合い、困ったときに遠慮なく助けを頼めるような地域社会づくりをめざし、宇部市内で約800人が活動されています。

- ・自治会に1名以上、自治会長の推薦により選出されます
- ・宇部市社協と各地区社協会長または各地区福祉委員会会長の連名により委嘱されます

地域の実情を把握し、活動内容を理解し関係者と上手く連携を図っていくために、3年の任期をお願いしているよ。



福祉委員の役割

- ① 見つける 地域にある問題や困っている人を気にかけてます。
- ② 知らせる 民生委員や関係機関などに知らせます。
また、困っている人に福祉情報を届けます。
- ③ つながる 地域活動へ参加し、地域の人や関係者をつながりを持ちます。



福祉委員の心構え

- 一、活動を生活のリズムの中に取り入れましょう。
- 一、相手の気持ちになって行動しましょう。
- 一、約束・秘密は守りましょう。
- 一、民生・児童委員との連携に努めましょう。
- 一、難しい問題は、ひとりで抱え込んだり判断・行動しないようにしましょう。
- 一、自分の活動を定期的に点検しましょう。

無理のない活動をお願いします！
困りごとがあれば相談してね。

